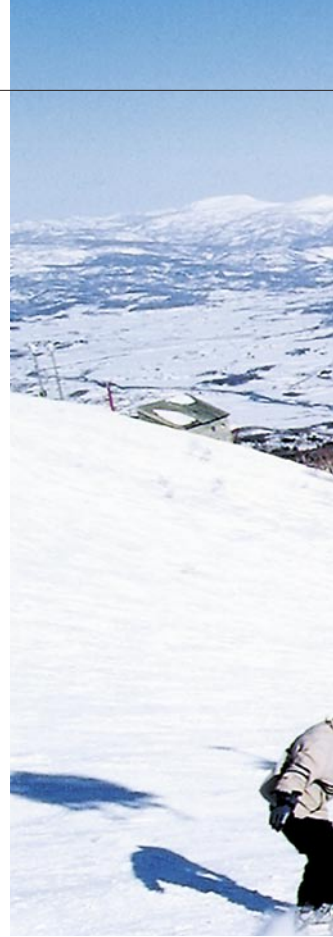




ニセコ地域は今、四季を通じたアウトドアレジャーの拠点としても注目されている。



夕闇に浮かぶスキー場は幻想的



ニセコ山中の「歴史の生き証人」

1941（昭和16）年から、ニセコ連峰の厳寒の気象を利用して、軍用機の墜落事故の原因の一つとなっていた機体への着氷実験が行われた。「雪は天から送られた手紙である」の言葉で知られる、中谷宇吉郎北海道大学教授が、旧日本軍の依頼を受け、ニセコアンヌプリ山頂に着氷観察所と本物の零戦を設置し、過酷な状況下での研究が進められた。戦争終結によって研

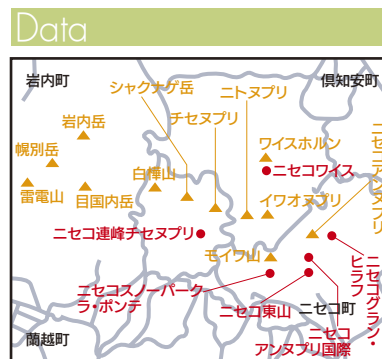
究は終わり、建物も封鎖されたが、その機体がアンヌプリ山中で発見され、1990（平成2）年に右翼が倶知安町風土館によって回収された。現在、展示の準備が進められている。60年間、いつの時代もスキーを楽しむ人々の笑い声を聞き、冬山の数々の厳しさを見てきた生き証人がいま甦える。

ような」と形容される）雪質を生み出す要因である。これだけの雪質を誇る地域は世界でも稀で、全国のスキー愛好者の人気を呼んでいる。晴天の日に、ゲレンデから見る真向かいの蝦夷富士（羊蹄山）の姿は格別だ。

近年、娯楽の多様化によりスキー人口の減少が懸念されているが、ニセコ地域は今、新たに最高のパウダースノーを求めて訪れるオーストラリアからの観光客で賑わい始めた。

ニセコ連峰の自然は雄大で、四季を通じて自然を楽しめる。美しい湖沼群やお花畑を見ながらの登山や、数多くある温泉、最近では尻別川を中心にラフティングやカヌー体験もできるなど、アウ

トドアリゾートとして、ますます人気が高まりつつある。周辺の広大なじゃがいも畑も北海道ならではの光景だ。



●お問い合わせ先
倶知安町企画振興課 Tel. 0136-22-1121